

(仮称)南3条西2丁目ホテル計画

Minami3-jo Nishi2-chome Hotel

No. 07-016-2022作成

新築
ホテル

発注者	京阪電鉄不動産株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社鴻池組東京本店一級建築士事務所 KONOIKE CONSTRUCTION CO.,LTD	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社鴻池組 北海道支店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

札幌の中心街に建つ地域性を活かしたホテル

設計趣旨

本計画は、札幌の中心街に位置し、ビジネス・観光の拠点となるホテルである。敷地は、3方道路に囲われており、南側は角地で周囲からの見通しがよく、北側は賑わいのある狸小路商店街のアーケードに面している。外観は、南東側角地となる交差点からの意匠性に配慮し、建物コーナー部にアクセントカラー・アクセントラインを施した。また、建物1・2階のホテル共用部は、基壇部として赤レンガ色のタイルで構成し、札幌の街並みに配慮した計画とした。

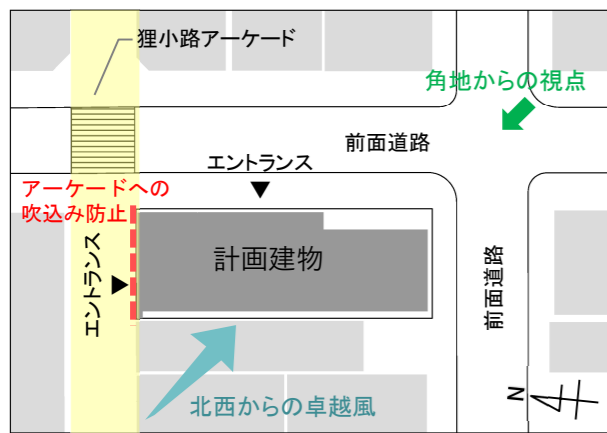
また、アーケードに面する外観は、大きさやピッチの違う2種類のルーバーをランダムに配置することで、リズムカルなファサードとし、アーケードの賑わいに寄与する計画とした。

外部からのアプローチは、北海道特有の北西・北北西からの冬期卓越風に配慮の上、東側中央部に配置し、玄関部分に風が吹き込まない計画とした。また、積雪に配慮し、正面玄関は深いアルコーブ形状とした。

アーケード側のアプローチも、商店街への風や雪の吹込み対策として、アーケード屋根や隣地建物との間の塞ぎ金物の設置や、ルーバーピッチに配慮した計画とした。



南東側角地から見た外観



配置図

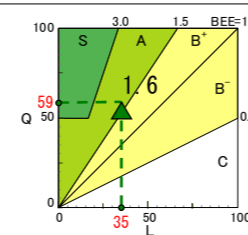


アーケード側から見た外観

所在地	北海道札幌市
竣工年	2023年
敷地面積	899㎡
延床面積	7,775㎡
構造	S造
階数	地上14階

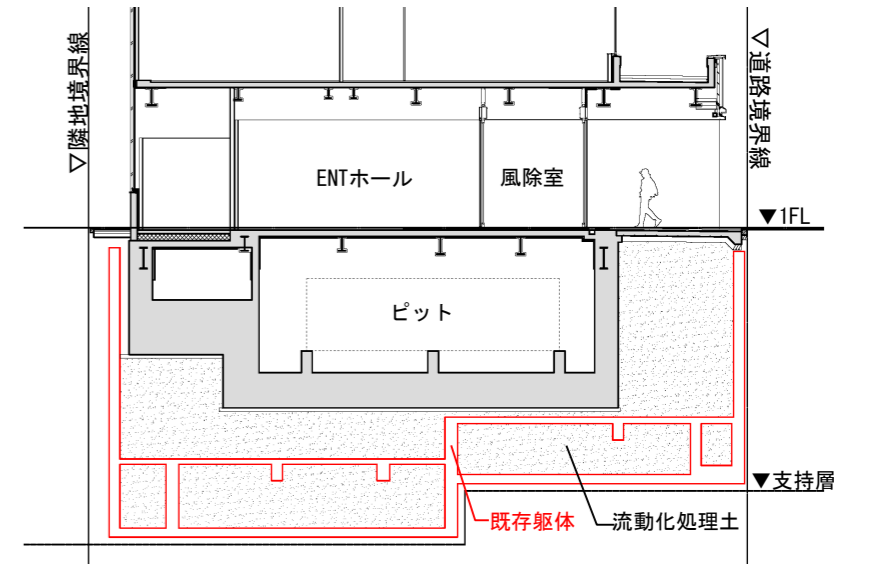
省エネルギー性能	
BPI	0.78
BEI	0.86

CASBEE評価	
Aランク	
BEE=1.6	
2016年度版 第三者認証	



既存躯体の山留利用による省資源・省エネルギー化
既存躯体を極力残す計画とし、既存躯体の中に囲われるように新築基礎を配置することで、山留として活用した。掘削や既存躯体の解体にかかるエネルギーを省略するとともに、新築用の山留資材の削減を実現している。

既存躯体・支持地盤の安全性を調査した上で、直接基礎を採用した。既存躯体と新築躯体の間には流動化処理土を充填し、新築躯体を構築している。流動化処理土は、現場発生土を再利用するものであり、札幌市のグリーン購入ガイドラインに対象品目として挙げられているリサイクル材である。



地域性のある素材・デザイン

札幌らしさを外観に取り入れるため、札幌特有のものを耐久性の高い外装材に変換してデザインに落とし込んだ。

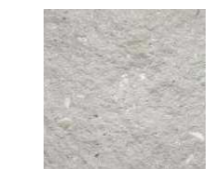
ECPデザインパネルはフッ素樹脂焼付塗装とし、角地からよく見えるコーナー部に採用した。北海道で産出される札幌軟石は、内装材としてエントランスホールに使用。吸水性・汚れの観点から外装ではECPエンボス加工に変換して表現した。赤レンガをモチーフとした二丁掛タイルは、脱落防止、メンテナンス性への配慮として、ECPの金物併用の乾式工法を採用した。



木立・降り積もる雪



ECPランダムリブパネル



札幌軟石



ECPエンボスパネル



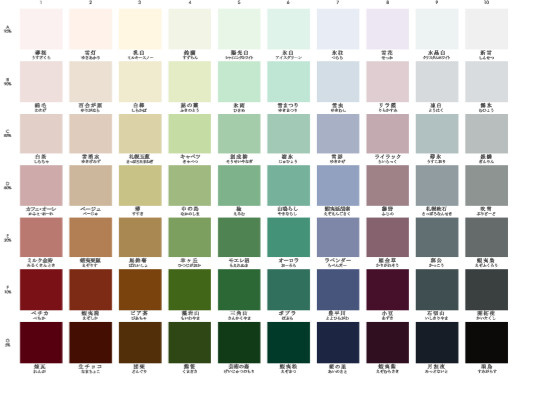
赤レンガ



二丁掛タイル

札幌の街並みに配慮した色彩計画

札幌市では、風土イメージを連想できるオリジナルの札幌らしい色・色名で構成されたカラーチャートがあり、外観の色彩計画は、札幌の景観色70色を基に計画している。



札幌の景観色70色

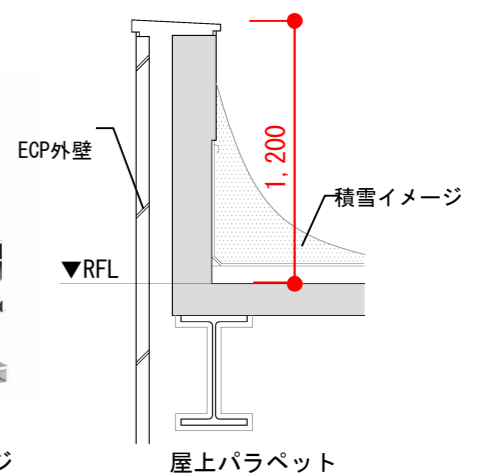
寒冷地の設計

客室のサッシは、アルミ樹脂複合サッシ・Low-E複層ガラスを採用し、ペリメーターゾーンの熱負荷の軽減により、省エネルギー化を図った。また、冬場のサッシ結露を防ぐことで、客室のメンテナンス・サッシ廻りの耐候性に配慮した。

積雪への対策として、陸屋根の場合、風下にしやすい雪庇を防ぐため、パラペットの高さを1m程度まで高くして積雪に配慮した。また、外構にはメンテナンス動線も含めてロードヒーティングを敷設し、積雪時の動線の安全性を確保した。



樹脂複合サッシイメージ



屋上パラペット

設計担当者

統括：阿部尚/建築：北峰健一・渡部菜津子/構造：関谷英一・木村榮、設備/大原達明

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (地域性のある素材・地域の街並みに配慮した色彩計画)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (高断熱サッシ・Low-Eガラス)
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減 (既存躯体の継続使用、リサイクル材)
- LR3. 2. 地域環境への配慮 (方位等に配慮した配置計画)
- LR3. 3. 周辺環境への配慮 (風害対策)